

支線バンド 概略仕様書

1. 適用範囲

この規格は、主として架空配電線路のコンクリート柱に施設する支線バンド（以下、「バンド」という。）について適用する。

2. 種類

バンドの種類は2 t用、3 t用および6 t用の3種とする。

3. 材料

バンドの材料はJIS G 3101に規定するSS400またはこれと同等以上のものを用い、ボルトを用いる場合のねじはJIS B 0205に規定するメートル並目ねじによらなければならない。ただし、ねじの精度はJIS B 0209に規定する8 g級とすること。バンドには加工後、全面一様に溶融亜鉛めっきか、またはこれと同等以上の防錆処理を施さなければならない。

4. 構造一般

バンドは良質で形状正しく、次の各号によらなければならない。

(1) コンクリート柱の直径190mm～280mmの範囲に確実に取付出来るものであること。

(2) バンドは、支線1本以上確実に取付出来ること。

(3) バンドには支線シングルを取付するか、又はこれと同等の効力のある装置を施すこと。

(4) 支線バンド2 t用および3 t用は、アームタイ用バンドとして流用することができる。また、その際は、900mmのアームタイ2本を重ねて容易かつ確実に取付出来ること。

5. 性能

バンドの性能は、下表および6項に定める規格に適合するものとする。

項目	性能	
縮付	バンドおよび支持物の各部に異常のないこと。	
荷重	傾角	許容荷重において、各部のずり下がり変位が30mm以内で変形が実用上支障のないこと。破壊荷重において破壊しないこと。
	垂直	許容荷重において、各部ずり下がり変位が5mm以内で変形が実用上支障のないこと。破壊荷重において破壊しないこと。
亜鉛めっき	付着量 450 g/m ² ただし、ねじ部は350 g/m ² 以上	

6. 試験方法

(1) 外観

外観は、目視および手触りにより外観、形状および表示について調べる。

(2) 構造

構造は、目視または適当な度器を用い、構造および寸法について調べる。

(3) 締付

締付は、バンドを使用状態に取付けし、表3の締付トルクで締付けた後、各部の異常の有無について調べる。

種類	締付トルク (N・m)
2 t 用	49
3 t 用	59
6 t 用	79

(4) 荷重

荷重は、バンドを使用状態に取付け、図1および図2の方法により表4の荷重を加え、バンド各部のずり下がり偏位および異常の有無を調べる。

種類	傾角		垂直	
	許容荷重 (kN)	破壊荷重 (kN)	許容荷重 (kN)	破壊荷重 (kN)
2 t 用	19.6	39.2	2.9	5.9
3 t 用	29.4	58.8		
6 t 用	58.8	88.2		

(5) 亜鉛めっき試験

溶融亜鉛めっきは、JIS H 0401（溶融亜鉛めっき試験方法）により行なう。

7. 荷造

バンドは輸送中容易に変形または損傷しないよう適当な荷造りをしなければならない。

8. 表示

バンドには、製造者略号、製造年を表示しなければならない。

以上